

LMO

Winter 冬号の主な内容

年頭の挨拶	2
人物紹介①	3
トピックス① <small>在日米軍従業員の 新たな募集活動を紹介します</small>	4
各地の職場から	5
人物紹介②	6
トピックス② <small>FM放送で在日米軍従業員募集活動</small>	7
わが支部の顔	7
Information	8~12

LABOR MANAGEMENT ORGANIZATION

vol 75 2021.1



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

年頭の挨拶

理事長 中村 範明



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返って見ますと、新型コロナウイルスにより、我が国のみならず、世界全体が大きな影響を受けた年でした。この影響は、企業の倒産や業績の悪化、失業者の増加、国内総生産や給与等所得の減少等といった経済面のみならず、在宅勤務やリモートワークの普及といった勤務環境面における変化、更には、イベントの中止、多人数で集まることや大声での会話の抑制、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの維持など、社会生活や個人の生活様式にまで及ぶこととなりました。

エルモにおきましても、いろいろな面で影響を受けました。成人病予防健康診断や制服の給貸与について、一部に実施時期の変更や基地外での実施を余儀なくされたことや、退職準備研修について、受講人数に制限をかけたことにより一部の希望者の受講を次年度に変更せざるを得ないこともありました。また、支部事務所においても、感染防止の観点から、来所される皆様の検温や手指消毒、飛沫防止のためのアクリルパネルやフィルムカーテンの設置、一部窓口開設時間の変更、郵送等による書類提出のお願いなどを行ったところです。

新型コロナウイルスの収束が見えない中、エルモにおけるこのような対応が当面継続すると見込まれますので、ご不便をおかけすることもあると思いますが、引き続き関係する皆様のご理解、ご協力をお願いします。

我が国を取り巻く安全保障環境について言えば、残念ながらこの一年で好転する動きは少なく、周辺諸国の動静からも、逆に厳しさを増していると評価されます。この地域は、大規模な軍力が集中する特異な地域であり、安全保障面の枠組みを形成するのが困難な地域であることから、安定のためには、米軍のプレゼンスは依然として重要であり、そして、在日米軍の駐留に不可欠な労働力の存在が日米安保体制にとり重要な要素であることは論を俟たないところです。このような中で、労務費等の我が国負担を定めた在日米軍駐留経費負担に係る特別協定が本年3月に期限終了を迎えることから、新たな協定締結に向けた日米間の交渉が行われていますが、新たな協定も、エルモの業務に当然関係することが見込まれることから、当該交渉を注視したいと考えています。

また、雇用情勢については、新型コロナウイルスの影響もあり、完全失業率が増加し、有効求人倍率が低水準に落ち込むなど、悪化が続いています。このような状況ですので、職を求める強い動きはあると考えられるため、実際の応募に繋がるよう、引き続き在日米軍従業員の仕事の魅力といったものについて、更に広報の強化に努めたいと考えています。

役職員一同、「基本理念」を常に心がけ、また、「行動指針」を踏まえた責任ある姿勢で、組織的的確な運営と業務の一層の向上を目指して、職務に邁進してまいりました。本年も、これを継続発展させたいと考えています。

新年のよき目に当たり、皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。

人物紹介



Joshua B. Grubb

Director, Specialized Contracting Division
Contracting Officer for the Master Labor
Contract and Mariner's Contract
374 Contracting Squadron, USAF



ジョシュア B. グラブ

特殊契約部 部長
基本労務契約及び船員契約契約担当官
第374契約中隊、米空軍

I am overwhelmed with gratitude to be a part of the honorable Joint Force "One-team," as the Director of Specialized Contracting in Japan and Contracting Officer for the Master Labor Contract and Mariners Contract. This is my family's first station in the Pacific and we are very grateful to enjoy the marvels of Japan.

I was raised in a military family that included Marines, Army, and Air Force veterans. We began our adventure in Germany and eventually settled in Dayton, Ohio. I was the first member in my family to go to college and get a Bachelor's degree. I stayed in Ohio to get my first Master's degree and later accepted a position in the contracting career field for the Air Force under the Department of Defense. I came to Japan with six years of experience in Foreign Military Sales but, it truly has been, in total a great 14 year career!

In this position, I lead three different sections dedicated to all-agency support within Japan and other locations within the Pacific theater. I am deeply impressed by the hard work and commitment of these sections which are made up of local nationals, U.S. civilians, and U.S. military members. We have never met an obstacle we cannot overcome in our efforts to support our business and collaborative relationships, everywhere within our area of responsibility. And most of all, we appreciate the dedication shown to strengthen our bond with our Japanese allies.

In my remaining time here, I look forward to interactively developing our Joint Force "One-team" for a more prosperous future together. I cannot be more thankful and honored for all of the efforts and professionalism we have received by local national employees, business partners, the USFJ community, All Japan Garrison Forces Labor Union, Ministry of Defense, and Labor Management Organization for USFJ Employees.

My two daughters, wife, and I look forward to traveling everywhere in Japan, embracing the Japanese culture, and learning more from the amazing local nationals on my staff - which includes finding the best Japanese foods and dishes! My youngest daughter, who was born in Tachikawa, has favored Hiroshima style Okonomiyaki as the best.

日本における特殊契約の部長そして基本労務契約及び船員契約の契約担当官として、名誉ある（日米両国の）ジョイントフォース「ワンチーム」の一員となれたこと、感謝の念に堪えません。

私達家族にとって初めての太平洋地域への赴任であり、日本のすばらしさを体験できることにとっても感謝しています。

私は、海兵隊、陸軍、空軍に勤める家族がいる軍人一家の中で育ちました。ドイツから始まった（世界各地へ赴任する）私たちのアドベンチャーは、ようやくオハイオ州デイトンに落ち着きました。家族の中で初めて大学に進学し、学士号を取得しました。最初の修士の学位を取得するためオハイオ州に留まり、後に米国防省にて空軍担当の契約担当官の職を得ました。対外有償軍事援助で働いた6年間を含め、14年間の経験を経て日本に参りました。

現職において、日本国内及び太平洋地域に点在するすべての米国防省行政機関を支援する、三つのセクションを束ねています。在日米軍従業員、米軍属そして米軍人混合で構成されているこれらのセクションの多大な努力と献身さに深い感銘を受けます。私達の担当地域のどこにおいても、業務と協働関係を支援するために乗り越えられない障害に直面したことはありません。何よりも日本の盟友との絆を強めるあらゆる努力に感謝します。

残された任期中、将来のさらなる成功のために相互に影響し合いながら、ジョイントフォース「ワンチーム」を一緒に進展させることを期待します。在日米軍従業員、契約業務関係者、在日米軍関係者、全駐留軍労働組合、防衛省そして駐留軍等労働者労務管理機構の皆様から頂くご助力とプロフェッショナルリズムはこの上なく光栄であり、感謝してもしきれません。

二人の娘たちと妻とともに日本中を旅してまわり、日本文化に触れることをとても楽しみにしています。そして素晴らしい日本人スタッフの方々からもっと学びたいです。もちろん美味しい日本の食べ物を教えてもらうことも忘れずに。（日本に赴任してから）立川市で生まれた末娘は広島風お好み焼きが一番のお気に入りです。

トピックス①

在日米軍従業員の新たな募集活動を紹介します（佐世保支部）

『U・Iターン希望の方！ 米海軍佐世保基地で働きませんか？』

佐世保支部では、募集ポスター・パンフレットを地方公共団体などをはじめとして地元スーパー、ハンバーガー店などに掲示・設置するなど、地域に密着した在日米軍従業員の募集活動を行っています。

昨年は、新型コロナウイルスの流行がきっかけとなり、U・Iターン希望者が増えているとの情報を受け、新たな募集活動として米海軍佐世保基地近郊にある移住サポートセンターとの連携を強化しています。

ここでは、佐世保基地近郊の移住情報を紹介します。

U・Iターンに興味のある方は、各サイトにアクセスを！

西九州させぼ広域都市圏
特設移住サイト



佐世保基地近郊の移住相談窓口の紹介

佐世保市

中心市街地は生活に必要な機能が揃うコンパクトシティで、利便性の高い暮らしが実現できます。一方、里山暮らしや島暮らしに最適なエリアも数多くあり、選択の幅が広いことが「させぼ暮らし」の特徴です！

◆移住窓口：西九州させぼ移住サポートプラザ
0956-25-9251 〒857-0855 佐世保市新港町8-1
メール:uji-turn@city.sasebo.lg.jp



佐世保移住
サポートサイト



西海国立公園「九十九島」

西海市

西の海という名前のお通り、西海市は九州本土の西の端にあり、西彼杵半島の北部に位置しています。手つかずの美しい自然と、そこからもたらされる豊かな食、地域色豊かで個性的な歴史を楽しむことができます。

◆移住窓口：政策企画課
0959-37-0063 〒857-2392 西海市大瀬戸町瀬戸壱浦郷2222番地
メール:seisaku@city.saikai.lg.jp



西海市
ホームページ



大島大橋

佐々町

町の中心を清流佐々川が流れる、コンパクトにまとまった街。都会とは違った小さい町ならではの心地よさがあります。西九州自動車道が開通して県内各地や福岡までのアクセスが良くなり、少しずつですが住む人が増えています。

◆移住窓口：企画財政課
0956-62-2101 〒857-0392 長崎県北松浦郡佐々町本田原免168-2
メール:kikaku@saza.nagasaki.jp



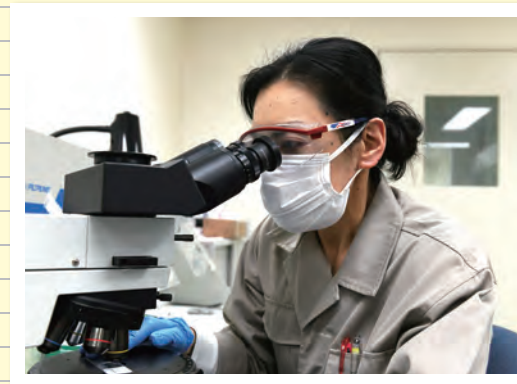
佐々町
ホームページ



河津桜と白魚漁

各地の職場から

今回は神奈川県横須賀基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

お名前：萩尾 しのぶ
 職場名：米海軍施設技術部隊 極東地域本部 環境統括課
 職種：技師職（環境）
 趣味：ランニング、国立公園巡り

プロフィール

お名前：田原 隆弘
 職場名：米海軍日本管区司令部 緊急対策課日本地域総合急派センター
 職種：主任火災警報発信職

コメント

私は2010年8月に環境技師として施設技術部隊環境課に入職し、2013年12月より同部隊の環境統括課内の検査室(EVラボ)にて、当ラボが提供する分析業務及び結果の品質保証・管理担当者として勤務しています。

私が現在所属するEVラボでは、飲料水、汚水、排水等の水質検査、大気測定、また、廃棄物(有害性)、ペイントチップ(鉛濃度)、建材(アスベスト含有率)等の分析・検査及び分析契約業者ラボへの委託業務の調整等が行われます。ラボ内での私の役割は、EVと契約業者の両ラボでの分析結果を受け、カスタマーに提供する分析データの保水性や完全性、また、信頼性を保証・管理する事です。

環境分野において、多岐にわたる種類の試料を分析・検査するEVラボで、勤務するメンバーは、監督化学職と化学職の小所帯です。日々の業務の際、同僚たちを見ていて、いつもEVラボは「縁の下力持ち」のような存在だと感じます。最終的にカスタマーの皆様の手元に届く、ほんの数ページの分析結果報告書には、基地内の環境保全のため、また、基地コミュニティーで過ごす人々の健康のために、非常に重要となり得る情報が記載されています。そして、その分析結果報告書は、EVラボ分析担当者たちの、精密な装置を操る「高いスキル」と、毎日のように持ち込まれる多種多様な試料の検査を継続して行う「安定性」により作り上げられているのです。

施設技術部隊極東地域本部、環境統括課の管轄は非常に広範囲で、EVラボのサービスも日本の国内全域に広がる米軍基地にて提供されています。地理的な観点からすると、我々はみなさんから遠く離れているかもしれませんが、毎日、横須賀から日本全国の基地で働く皆さんの環境と健康をお守りする手助けが出来事を嬉しく思っています。

コメント

はじめまして。横須賀基地911緊急対策課日本地域総合急派センター(RDC)に勤務している田原隆弘と申します。現在、横須賀支部のリーダーとして2020年をもって10年となりました。

日本では緊急時にかかる通報用電話番号が110番と119番に分かれていますが、アメリカでは911番が緊急電話番号として統一されており、日本国内の米海軍施設においても911番に通報することで最寄りのセンターへつながり、米軍内の警察(事件・事故)、消防(火災・救急車)のいずれも要請することができます。現在当部署では主に横須賀基地及びその周辺管轄施設で働くSOFA(日本国内に駐留するアメリカ合衆国の軍人/軍属)の方々とその家族、米海軍施設で働くすべての人々の安全を守るべく24時間体制で監視にあたっております。緊急通報を受ける度、通報内容を精査すると同時に最適な緊急車両や部隊を編成し、出動後は車両や部隊の位置情報を収集、活動情報を記録しながら緊急現場の活動支援を行います。

いつ、どこで、どのような事態に巻き込まれるかは誰にもわかりません。限られたエリアとはいえ外国から日本に初めてこられた方や横須賀に詳しくない方から位置情報を電話越しに聞き出すこと、緊急事態の渦中にいる当事者から情報を得て対応部隊に素早く伝達すること、業務の全てに人々の命と財産がかかっていると思うとプレッシャーもあり毎日がチャレンジです。

皆様と対応部隊の間をつなぐ立場のため人前にてはなるべく、もしかしたらこんな職場があるということも知られていないかもしれませんが、このような形で当職場を紹介できる機会をいただきありがとうございます。

人物紹介



CALEB C. FOSHEE

Chief, Civilian Personnel Flight
MLC/IHA COR
Misawa Air Base, Japan

As Chief, Civilian Personnel Flight, I am passionate about all the civilian employees on Misawa Air Base. My job is to make sure all employees, US and Japanese, are treated with respect and afforded their employment rights, benefits, and honors. With a total civilian strength of approximately 1,500, Misawa Air Base is a large source of employment for and revenue to the local economy. Ensuring the well-being of our population is in the best interest of the US Air Force and Government of Japan.

I have over 17 years of experience in Human Resources. In that time, I worked at different levels in the Air Force, at a base in Germany, and at a private company. Through all of my assignments, one thing was readily apparent: the welfare of the workers determines the success of the organization. My goal is to provide the most responsive and highest quality service to our employees possible! My office, along our neighbors at the Misawa Labor Management Office and the Misawa Defense Office, can work together to achieve this goal.

My team is here to help both US military and civilian supervisors so as to be familiar with rules and regulations that govern the Japanese workers, and to appropriately supervise and manage employees. This assists the US Air Force to accomplish its mission and ensures employees have a good working environment.

My wife and I, along with our four children, look forward to learning, seeing, and participating in the culture of Japan. We chose to come to Japan because of the rich cultural traditions, the beautiful landscapes, and the amazing food. We are not afraid of new things and want to experience as much as we can in our time here!

If you have any concerns or questions regarding your employment or work environment, please do not hesitate to contact my office and feel free to contact me directly. We are proud to be here and ready to serve!



カレブ C. フォーシー

在日米空軍三沢基地
民間人人事部 部長

民間人人事部のフライトチーフとして、私は空軍三沢基地の全ての民間人従業員の皆様に関する事に対し、自らの立場をもって真摯に取り組みたいと思っています。私の仕事は、米国、日本の全ての従業員が尊厳をもって対応されていること、そして彼らの権利、利益、更に褒賞が認められることを責任をもって保証することです。全体でおよそ1,500人の民間人が勤務しており、空軍三沢基地は地域経済にとっても雇用及び生活収入源の多大なよりどころでもあるため、これらの人々の福利厚生を保証することは、米国空軍及び日本政府の最良の利益であると思います。

私は、人事分野において17年以上の経験があります。その間、私は米国内の空軍基地、ドイツの基地や民間企業の様々な異なるレベルで勤務してきました。そういった職務を通して、私には、一つ、容易に明らかだったことがあります。それは、労働者の福利厚生が組織の成功を決定する、ということです。このことから、私の目標は、できる限り、迅速かつ質の高いサービスを従業員の皆様に提供することです。私どものオフィスは、三沢防衛事務所とLMO三沢支部とともに、この目標を達成するよう協力していきます。

私たち人事チームは軍人及び民間人の監督者が三沢における従業員を統括するルールや法規に精通できるよう、そして適切に従業員管理監督ができるようお手伝いするためにここにいます。これが、米国空軍のミッションを達成するための支援ということとなり、従業員の皆様が良い職場環境で勤務することを保証することになると思います。

妻と私、そして4人の子供たちは日本の文化を学び、見て、そして関わっていくことを楽しみにしています。私たちは日本に来ることを選びました。それは日本の豊かな文化的伝統、美しい風景、そして素晴らしい食べ物も理由として挙げられます。私たちは、新しいものや事柄について心配はしていませんし、それ以上に日本にいる間、できるだけ様々な経験をしたいと考えています。

もし皆様が、ご自身の雇用や職場環境について心配事や質問がありましたら、いつでも私の事務所に直接来ていただいて構いません。私どもは、皆様に常にサービスを提供できることを誇りに思っています。

トピックス②

「FM放送で在日米軍従業員募集活動」

この度、沖縄支部では宜野湾市、沖縄市及び北谷町の協力を得て、地元のFM放送局(FM宜野湾、FMコザ、FMオキラジ、FMニライ)において、当機構の業務内容及び在日米軍従業員募集広報を行いました。

令和2年10月21日にFM宜野湾、同29日にFMコザの番組に職員が出演し、それぞれのパーソナリティの軽妙なトークのもとテンポの良い和やかな雰囲気の中で会話が進められ、特に当機構の略称である「LMO(エルモ)」については、可愛らしく親しみやすいなどとても



【FMコザ】

好評でした。今後もこの名称を広く浸透させていくとともに、円滑な募集活動に繋げていけるよう努めてまいります。

また、この両局のほかFMオキラジ、FMニライにおいてもPR放送を実施していただきました。紙面をお借りしそれぞれ自治体のご担当の皆様、またFM放送局の皆様には厚くお礼申し上げます。沖縄支部は、今後も機会を得て種々の広報活動を実施してまいります。



【FM宜野湾】



今回は神奈川県座間支部からです。

氏名	わたなべ せいこ 渡邊 聖子		こいで かずき 小出 一輝	
所属	管理課総務経理係		給与厚生課給与厚生第四係	
担当業務	総務担当		健康診断、ほう賞等	
コメント	<p>新年明けましておめでとうございます。</p> <p>私は、平成29年4月に地元である長崎を離れ、座間支部給与厚生課給与厚生第一係に採用されました渡邊です。採用当初は関東での生活や初めての就職に不安もありましたが、周りの方々に助けていただき現在では充実した日々を送っております。前業務では諸手当の認定業務や地方税業務、組合費業務などを行っていたので窓口等でも在日米軍従業員の皆様と接する機会がたくさんありました。平成31年4月からは、管理課総務経理係で主に庶務業務を行っており在日米軍従業員の皆様と接する機会は減りましたが、電話の問い合わせ等があった際には所属基地や要件等を聞き、的確に担当へつなげるよう心がけております。</p> <p>また、入門バスの申請手続きや定期便、広報誌の配布等で基地内に入門することがありますので、何かお問い合わせ等がありましたらお気軽にお声がけください。</p> <p>まだまだ未熟な面が多々ありご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも皆様のお役に立つことができるよう努めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>		<p>新年明けましておめでとうございます。</p> <p>私は、平成30年4月に座間支部給与厚生課給与厚生第四係係員として採用された小出です。現在3年目を迎えました。</p> <p>採用された年は主に制服業務を担当し、2年目は制服業務に加えて新たに健康診断業務を担当し、制服業務を後輩に引き継いだ現在は、健康診断業務とほう賞業務を担当しております。毎年新たな業務に携わるようになったので、覚えることが多く大変でしたが、上司の指導や職場先輩のサポートも受け、少しずつ業務をこなせるようになりました。</p> <p>そのような中、国が実施している定期健康診断については、これまで、米軍基地内に会場を設け実施しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が広がった今年の陸軍関係の前期定期健康診断は、感染予防の影響を受け、座間支部史上初めて支部で健診を実施することとなりました。建物の手狭であることや前例がないことも相まって、健診当日では戸惑うことの連続でしたが、健診機関の対応、在日米軍従業員の皆様のご理解、米軍や国、支部職員の協力もあって、何とか無事に実施することができ安堵したと同時に、突然の事態に臨機応変に対応することや、暑い盛りでの実施であったことから、体力も必要だと感じました。</p> <p>これら経験から学んだことを大切にしながら、今後も向上心を持って業務を行い、在日米軍従業員の皆様のお力になれるよう日々努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>	

受診しましょう！成人病予防健康診断（無料）！

エルモでは、毎年度成人病予防健康診断を実施しています。受診を希望される方は、エルモ各支部が11月分給与明細と共に配布した受診申込書に必要事項を御記入の上、エルモ各支部厚生担当係まで、お申し込みください。

なお、申し込みされた方には、医療機関から受診票が送付されますので、その案内に従って受診してください。

- 対象者 試用期間従業員、常用従業員及び高齢従業員
- 実施期間 支部によって実施時期は異なります。
- 実施場所 基地内又は医療機関
- 検査項目 以下の表のとおり
- 申込締切 エルモ各支部厚生担当係にお問い合わせください。

検査項目	対象年齢	～34歳	35歳	36歳～39歳	40歳～
胃 検 査					○
心 電 図 検 査		○	定期健診で実施	○	定期健診で実施
肝 機 能 検 査		○	定期健診で実施	○	定期健診で実施
大 腸 ガ ン 検 査					○
肺 ガ ン 検 査					○
子 宮 ガ ン 検 査			○	○	○
乳 ガ ン 検 査			○	○	○

婦人ガン検診も行っております！

エルモでは、胃検査や心電図検査等以外にも婦人ガン検診（子宮ガン検査、乳ガン検査）を行っております。

「子宮（頸）ガン」は、20歳後半から増加して40歳代でピークを迎え、日本全国で1年間に約11,000人が子宮（頸）ガンと診断されています。

また、「乳ガン」は、女性がかかるガンの中では最も多く、特に40歳代後半から60歳代後半の罹患率が高い傾向にあり、日本全国で1年間に約92,300人が乳ガンと診断されています。

検診を受けることによって、早期発見、早期治療に繋がりますので、皆様、ぜひこの機会に受診しましょう。

注意事項

- 各検査項目の対象年齢は、令和4年3月31日時点の年齢です。
- 各検査対象項目に関する疾病で加療中の方は、その検査項目については受診できません（それ以外の検査項目については受診できます。）
- 申込書提出後、雇用が終了された方については受診できません（退職日の翌日に再雇用された方を除く。）
- 実施場所については、基地内又は医療機関以外で行うこともあります。
- お申し込みが定員に達した場合、受診できませんのでお早めにお申し込みください。

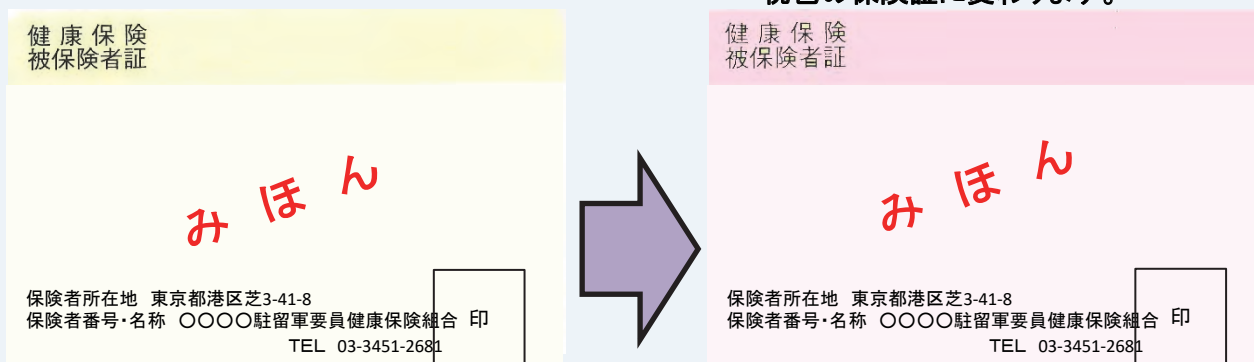
駐健保から健康保険証の更新についてのお知らせ

● 来年4月1日から健康保険証が新しくなります

- ◆ 現在、皆様に交付されている駐健保の健康保険証の有効期限は、令和3年(2021年)3月31日までとなっています。

このため、**3月1日から3月31日の間にエルモ各支部を通じて、現在使用されている保険証と引き換えに新保険証を交付いたしますので、ご協力いただきますようお願いいたします。**

桃色の保険証に変わります。



- ◆ 健康保険証の具体的な交換方法につきましては、2月に配布される給与明細と併せて皆様へお知らせいたしますので、そちらをご確認ください。

● 健康保険証の返却について

- ◆ **被保険者や被扶養者(ご家族)の資格がなくなったときは、速やかに健康保険証(家族分を含めて)をエルモ各支部にご返却ください。**
資格がなくなった後に駐健保の健康保険証を使用して診療を受けた場合、駐健保負担分を返還していただくこととなります。
また、**高齢受給者証、限度額適用認定証、特定疾病療養受療証、限度額適用・標準負担額認定証**が交付されている方は、健康保険証返却の際に併せて返却してください。

お問い合わせ：駐留軍要員健康保険組合 03-3451-2681(代表)

届出済のマイナンバーについて

エルモ支部に届出されているマイナンバーが、**届出後に変更された場合は、再度、届出が必要**となります。
ご不明な点については、エルモ支部までお問い合わせください。

心の健康相談について

在日米軍従業員とその御家族の皆様の精神的な悩みなどについて、24時間いつでも電話相談に応じています。

プライバシーは完全に守られます。どうぞお気軽に御利用ください。

- 実施期間** 令和3年3月31日まで
- 相談できる** 在日米軍従業員の皆様のほか、御家族も相談できます。
※家族の範囲は、配偶者及び子並びに被扶養者です。
- 費用** 相談料は無料です。ただし、面接相談は1人につき年5回までです。
- 留意事項** 勤務時間中に電話、面接又はWEBにて相談をされる際は、緊急を要する場合を除き、事前に監督者の許可を得てください。

電話・面接カウンセリング

「相談センター」365日24時間電話相談対応



専用のフリーダイヤルより御連絡ください。
面接の申込みも同じ電話番号からお申し込みいただけます。



※ただし、面接は、日本の祝日・日曜日、12月29日～1月3日を除く、月曜日～土曜日 09:00～17:00(面接の終了時間)の対応となります。

WEBカウンセリング

専用のURLにアクセスしてください。

WEB相談に必要なIDやPassは、基地内に掲示しているお知らせや、エルモホームページに掲載しています。



※1 携帯電話からの御利用も可能です。
※2 回答はおおむね3日以内に届きますが、年末年始等は3日以内に回答できない場合があります。

※ 専用のフリーダイヤルやURLなど、御利用方法の詳細については、エルモホームページで御覧いただけます。

ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>

アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口について

エルモでは、アスベスト(石綿)に係る在日米軍従業員の皆様の健康相談窓口を開設しております。
アスベスト(石綿)に係る健康相談を希望される方は、最寄りの窓口にて御相談ください。

- 対象者 在日米軍従業員及び在日米軍基地に勤務され退職された方など
- 相談内容 アスベスト(石綿)に関すること
(例) ● 御自身の健康不良や健康不安に関すること
● 労災補償制度、健康管理手帳制度に関すること
● 相談機関の紹介に関すること

御利用方法等については、エルモホームページ又はエルモ支部までお問い合わせください。

ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>



アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口

担当部署	住所	電話番号
労務部 厚生課	〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田MTビル 6階	03-5730-2168
三沢支部 給与厚生課	〒033-0012 青森県三沢市平畑 1-1-25	0176-53-4165
横田支部 給与厚生課	〒196-0014 東京都昭島市中田町 568-1 昭島昭和第2ビル 4階	042-542-7883
横須賀支部 給与厚生課	〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通 1-6 村瀬ビル 4階	046-828-6946
座間支部 給与厚生課	〒252-0011 神奈川県座間市相武台 1-46-1	046-251-0702
京丹後支部	〒629-2503 京都府京丹後市大宮町字周枳 1975 MICビル 1階	0772-68-0920
岩国支部 給与厚生課	〒740-0027 山口県岩国市中津町 2-15-35	0827-21-1271
呉分室	〒737-0051 広島県呉市中央 1-6-9 センタービル呉駅前 4階	0823-32-7087
佐世保支部 給与厚生課	〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町 3-1	0956-23-7191
沖縄支部 厚生課	〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良 1058-1	098-921-5534

エルモ職員採用について

エルモでは、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）の合格者から、職員を採用しています。

同試験の詳細については、人事院ホームページをご確認下さい。

エルモの業務概要

●雇入れ等に関する業務

在日米軍からの労務要求書（求人）による在日米軍従業員の募集、人事措置の事務手続等を実施しています。人事措置とは、人事上の特定の措置（採用、昇格、退職等）のことで、在日米軍が人事措置要求書を作成し、エルモに送付します。

●給与の支給に関する業務

在日米軍従業員の給与及び旅費の支給に当たって、在日米軍から提出された就業記録の確認、計算及び支給に関する書類の作成を行っています。また、在日米軍従業員からの扶養手当、通勤手当、住居手当等の諸手当届出の受理・審査等、給与に関する様々な業務を行っています。

●福利厚生に関する業務

エルモは、在日米軍従業員に対する制服等の貸与、退職準備研修の実施や成人病予防健康診断の実施、各種相談の実施、業務災害を受けた者等に対する特別援護金の支給等を行っています。さらに福利厚生に関する業務として、社会保険に係る被保険者の資格取得・喪失の届出等の手続等を行っています。

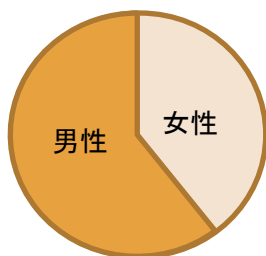
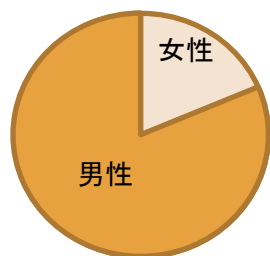


エルモは、職員に占める女性職員の割合が約40%を占めており、女性職員が活躍する職場です。

エルモでは、自分のワーク・ライフ・バランスに合わせて活躍する職員がたくさんいます！

国家公務員全体
女性 20.4%

エルモ
女性 41.1%



仕事と家庭を両立するための主な制度

- ◎ 産前産後休暇
 - 出産予定日を含む前6週間
 - 子どもが生まれた日の翌日から8週間
- ◎ 育児休業等
 - 最大で子どもが3歳に達する日まで取得可能です。男性も取得できます。
 - 育児休業中は給与は支給されません。（ただし、共済組合から子どもが1歳に達するまでの間育児休業手当金が支給されます。）
 - 小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、1年以上1年以内の期間で週19時間25分～24時間35分の勤務が可能です。
 - 小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、1日につき2時間を超えない範囲内で勤務しないことが可能です。
 - その他、育児に関する休暇等があります。

- ※1 国家公務員全体の割合は「平成30年度における一般職の国家公務員の任用状況調査（行政職（一））参照
2 エルモの割合は、令和2年4月1日時点

採用担当：本部総務部総務課人事係（03-5730-2163）

（受付時間：9時30分～17:時00分 ※土日祝日除く）

エルモHP：<https://www.lmo.go.jp>



募集案内 在日米軍従業員を募集しています!

エルモホームページでは、在日米軍従業員の求人情報を掲載しております。
 興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。最寄りの支部にお問い合わせください。
 ※また、求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



本州・九州の基地



沖縄の基地

インターネットによる応募を受け付けております。

ホームページ(PC及びスマートフォン)アドレス
<https://www.lmo.go.jp>

LMO

求人情報



※求人情報提供メールサービス



支部行事予定 (1~3月分)

三 沢	1月	後期定期健康診断 (～2月)	京丹後	1月	
	2月			2月	
	3月	健康保険被保険者証の更新	3月	制服等更新分給与与 健康保険被保険者証の更新	
横 田	1月	成人病予防健康診断 (婦人がん健診) (～2月) 後期定期健康診断 (～2月)	岩 国	1月	後期定期健康診断 (～2月) (呉地区)
	2月			2月	制服等更新分給与与 (第2回)
	3月	健康保険被保険者証の更新		3月	健康保険被保険者証の更新 後期定期健康診断 (岩国地区)
横須賀	1月	成人病予防健康診断 (胃検査等) (～2月)	佐世保	1月	
	2月	後期定期健康診断		2月	
	3月	健康保険被保険者証の更新		3月	健康保険被保険者証の更新
座 間	1月	後期定期健康診断・成人病予防健康診断 成人病予防健康診断 (婦人がん健診) (～2月)	沖 縄	1月	
	2月			2月	
	3月	健康保険被保険者証の更新		3月	健康保険被保険者証の更新

※ 新型コロナウイルス等の影響で行事については変更される可能性があります。

編集発行 独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】
 総務部総務課
 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル6階
 Tel: 03-5730-2163
 ホームページアドレス <https://www.lmo.go.jp>

